

# 交渉速報

J R 貨物労組中央本部業務部

2023 年 11 月 10 日

No.4

## 会社：現時点2020年度年末手当よりも厳しい 組合：組合員の奮闘を受け止めない会社の考え方は許さない！ 再考を求める！！

### ～2023 年度年末手当交渉 第 3 回交渉報告～

中央本部は本日 10 時 00 分より第 3 回交渉を行ない、会社は現時点における考え方を以下の通り明らかにしました。

1. 2023 年度は「中期経営計画 2023」の最終年度として、当社がめざすべき「JR 貨物長期ビジョン 2030」のもと総合物流企業への進化を進めてきた。
2. 上半期の荷動きは、コロナが緩和されたものの、この 3 年半でのサプライチェーンや輸送需要の変化、原油価格の高騰によりコロナ禍前に戻らない状況が続いている。また、7 月の大雨により約 2 週間山陽本線が不通となった他、猛暑による玉ねぎの生育不良などの延期の影響があり苦戦を強いられている。
3. 本年度の上期決算は、単体経常利益  $\Delta$  21 億円であり 2022 年度上期決算よりも悪化している。今朝の日報ベースでは、コンテナ収入対計画 98.2% (対前年 98.2%)、車扱収入対計画 99.2% (対前年 101.1%)、合計で対計画 98.3% (対前年 98.5%) となっている。
4. 2024 年問題をきっかけとした問い合わせは増加しており、鉄道貨物輸送への関心は高まっている。営業活動を強化し成約案件の早期前倒しを行ない、10 月期改定計画達成にむけて取り組んでいく。
5. この間の災害対応や臨時列車の運行に対して、指定公共機関として献身的に社会的使命を全うしている社員の皆さんに、改めて感謝している。
6. 退職者増加の原因について、コロナ禍が明け、採用市場が激化していることは事実である。この対応のために賃金や労働条件を向上させることは否定しない。次期中期経営計画の中で新規採用者獲得や離職防止対策を盛り込んでいく考えである。
7. 期末手当は生活給の要素が強いことは否定しないが、期末手当は「半期の業績」「直近の状況」「社員の頑張り」を総合的に判断していくことには変わりはない。
8. 以上のことを踏まえ、会社の現時点の考え方として、「2020 年度年末手当よりも厳しい」という考えである。

次ページへ続く

会社の考えに対し、中央本部は厳しく指摘し、以下の主張を行ないました。

1. 会社は社員の頑張りに感謝すると言っているが、組合員は2020年度の上期よりも増加している輸送障害や、災害対応で通常作業以上に頑張っている。会社は出せない根拠を並べているだけであり、職場の現状を理解していない。JR 会社間の運行ルールが履行されていない現状であり、荷主から貨物列車はいつも遅れていると言われ信頼を失いつつある。輸送のトップセールスを行なうべきである。
2. 経常利益は△21億円となり昨年よりも改善している。輸送量も対前年を上回りつつあり、この結果は組合員の頑張りの結果であることから、その労苦に報いるような考え方と捉えることができない。
3. この間全国で総対話行動を展開し、組合員の労働環境が改善されていない現状を見てきた。一般企業並みの設備で働く環境ではない。業務で使用する設備を整えることも大事であるが、それ以外の労働条件等も早急な改善が必要である。
4. KGI/KPI 目標である輸送量の拡大をはかっていかなければならない中で、離職者が後を絶たない状況である。会社は人材への投資を行ない、離職者防止に努め、魅力あるJR 貨物とするために、期末手当で組合員の期待に応えなければならない。
5. 営業スタッフは収入拡大に奮闘している。31ftのコンテナを誘致しても置く場所がなければ努力が無駄になってしまう。会社は収入拡大にむけて、職場の声を聞き、その負託に応えるべきである。
6. 直近の状況と組合員の頑張りを見れば現時点の会社の考え方は納得できるものではない。私たちの要求の根拠と要求額に対して、会社との考えには大きな乖離があり、到底受け入れることはできない。会社は私たちの主張を受け止め、再考すべきである。

貨物労組の指摘・主張に対して会社は、「本日示した会社の考え方は現時点の考えであり、貴組合の主張を受け止め、回答指定日にむけて、引き続き社内で議論していく」と回答しました。

本日から「山場の闘い」に突入しました。会社は今回も収入未達を理由に年末手当抑制の考えを示し、物価が上昇し続け、苦しい生活を強いられている私たちの誠実な要求に応えようとしていません。

11月13日は全国統一職場集会日です。集会に全組合員が結集して職場が創意工夫した取り組みをつくり出すとともに、会社経営幹部に対して、職場で働く私たちの現実の声をぶつけて行こうではありませんか。そして、中央本部は回答指定日にむけて全力で闘うことを明らかにし、第3回交渉報告とします。

以上

次回交渉（回答指定日）は11月16日（木）です。